

キンラン *Cephalanthera falcata* (Thunb.) Blume

【評価理由】

個体数階級 2、集団数階級 1、生育環境階級 3、人為圧階級 3、固有性階級 2、総点 11。明るい林内に生育する植物で、全国的にも愛知県でも園芸目的で採取されることが多く、減少傾向が著しい。

【形態】

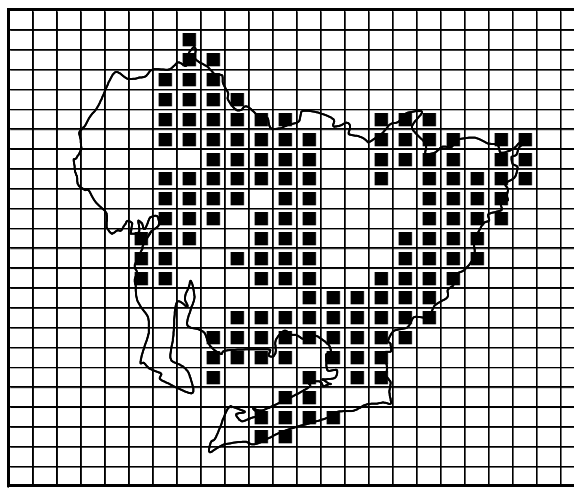
多年生草本。茎は直立し、高さ 30～70cm になる。葉は 6～8 個が互生し、広披針形、長さ 8～15cm、幅 2～4cm、先端は鋭尖頭、基部は茎を抱き、平滑で縦脈が目立つ。花期は 4～6 月、花は茎の上部に 3～12 個つき、黄色、苞は 3 角形で長さ約 2mm、膜質である。がく片は卵状長楕円形、長さ 14～17mm、先端は鈍頭、側花弁は長卵形で、がく片よりやや短い。唇弁の基部はふくらんで短い距となり、唇部は 3 裂し、側裂片は 3 角状卵形でずい柱を抱き、中裂片は円心形で内面に数本の隆起条がある。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：8 鳳来北東部 (夏目一平 1, 2008-5-16)、12 新城 (芹沢 65036, 1993-5-10)、13 豊川 (小林 36789, 1992-4-27)、14 蒲郡 (芹沢 78596, 2003-5-16)、15 豊橋北部 (芹沢 83479, 2009-5-9)、17 田原東部 (小林 42479, 1993-5-5)。西：5 稲武 (畑佐武司 7681, 2009-5-26)、22 小原 (塚本威彦 980, 1994-5-5)、23 藤岡 (日比野修 1132, 1993-5-13)、24 豊田東部 (佐藤久美子 428, 1993-5-21)、29 岡崎北部 (中西普佐子 761, 1993-5-23)、36 西尾南部 (壁谷重美子 443, 1994-5-21)。尾：37a 瀬戸 (塚本威彦 53, 1993-5-12)、38b 日進 (半田多美子 223, 1992-5-21)、41b 知多 (鳥居ちる子 3023, 2011-10-31)、45 犬山 (山田果与乃 307, 1998-4-29)、48 春日井 (山田果与乃 677, 2001-5-6)、51 名古屋南東部 (中島ひろみ 913, 2001-5-6)。1 富山, 3 東栄, 4 津具などにもあるという (小林, 2006)。16 豊橋南部 (天伯町, 鳥居喜一 12334, 1949-5-22, HNSM)、20 足助 (西樫尾, 大原準之助 s.n., 1966-5-11)、25 豊田北西部 (猿投山, 岡本英一 287, 1958-5-19) などで採集された標本もある。

要配慮地区図



【国内の分布】

本州、四国、九州。

【世界の分布】

日本、朝鮮半島、中国大陸。

【生育地の環境／生態的特性】

丘陵地～山地の明るい落葉広葉樹林内に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○	○		
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

かつてはエビネと共に丘陵地の二次林内に普通に見られる植物であったが、遷移の進行や開発に加えて花が黄色で目立つため乱獲され、激減した。もともとが普通種であったため、現在でもまだかなりの区画に生育しているが、どの区画でも偶然行き当たるとい程度の頻度で残存しているにすぎない。

【保全上の留意点】

園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。ただし、本種の場合は、好事家の意図的な採取よりもむしろ一般人の行きずりの採取の影響が大きい。自然物は公共の資産であり、個人の庭に取り込んでほならないという意識を、できるだけ多くの人に持ってもらうことが必要である。

【引用文献】

小林元男. 2006. 北設楽の植物 p.241. 愛知県林業試験研究推進協議会, 新城.

【関連文献】

保草本Ⅲp.29, 平草本 I p.207, 平新版 1 p.189, 環境省 p.595, SOS 新版 p.78,80.